

異なるワクチン同士の接種間隔



※接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹などの症状が出ることがあります。規定上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や接種部位の腫脹がないことなど、体調に問題がないことを確認してから、接種する必要があります。

※特に医師が認めた場合、同時接種を行うことができます。

※同一のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔については添付文書等の規定に従ってください。

ワクチンの分類

注射生ワクチン	経口生ワクチン	不活化ワクチン		
<ul style="list-style-type: none"> ●麻しん風しん (MR) ●水痘・带状疱疹 ●BCG ●おたふくかぜ など 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロタウイルス 	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ菌b型 (Hib) ●B型肝炎 ●日本脳炎 ●A型肝炎 	<ul style="list-style-type: none"> ●肺炎球菌 (小児用・成人用) ●DPT-IPV ●インフルエンザ ●髄膜炎菌 	<ul style="list-style-type: none"> ●DPT ●HPV ●破傷風 ●ポリオ ●DT ●帯状疱疹 など